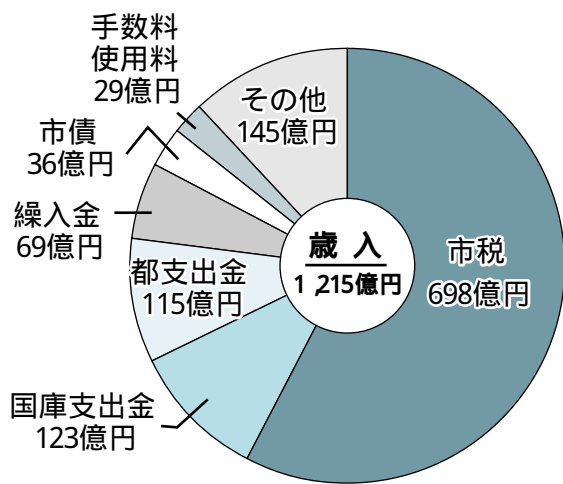


# 平成19年度決算状況

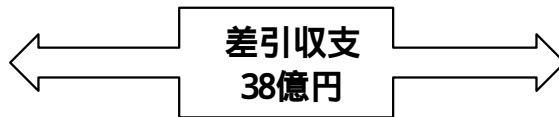
市民の皆さんに納めていただいた市税がどのように使われ、市の決算はどのようになったかをお知らせします。お問い合わせは、財政課(☎724・2149、FAX724・1172)へ。

## 一般会計歳入歳出決算状況

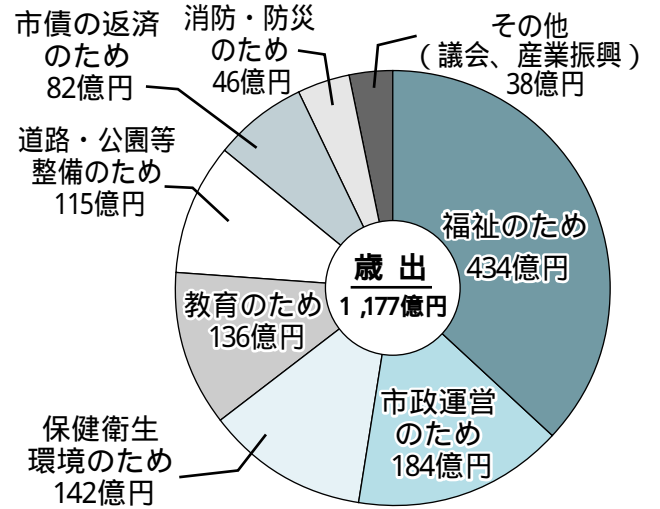
## - 町田市の決算は赤字か黒字か? -



平成19年度一般会計の歳入から歳出を引いた収支は、38億円の黒字でした。



歳入では、所得税から住民税への税源移譲や定率減税の廃止により市税収入が増えた一方、国の税金を地方に配分する「交付金」などが大幅に減りました。歳出では、国民健康保険事業会計への支出や児童手当など福祉のための支出が平成18年度と比べて32億円増えました。



## 平成19年度の主要な事業と決算額

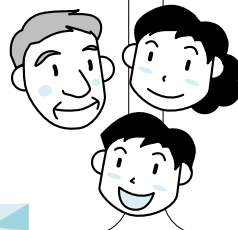
## - 市民の皆さんに納めていただいた市税はどんなことに使われたか? -

### 市民協働のまちを目指して

- 町内会・自治会が行う地域の活動を支援 4,827万円
- 町内会・自治会が、NPO法人やボランティア団体と協力して取り組む事業を支援 45万円
- 地域や市民活動の情報などを提供する地域情報誌「まちびと」を民間企業との協働により発行 600万円
- 市内大学と連携して市立小中学校教員への研修や市立小中学校在籍の不登校児童・生徒の自宅学習支援を実施 482万円
- 新庁舎や鶴川駅前公共施設の整備について市民と協働で在り方を検討、新庁舎については基本設計が完成 1億4,520万円



地域情報誌「まちびと」を年4回発行しています。Vol.6冬号(写真)は12月5日に発行しました。



### 環境先進都市を目指して

- ごみゼロ市民会議で市民とともにごみ減量・資源化に向けた具体的な方策を検討 689万円
- 新しい剪定枝資源化センターが完成し、処理能力が約2倍に向上 6億2,676万円
- 相原中央公園、三ツ目山公園などの公園を整備 3億2,644万円
- 全ての市立小学校で給食に地場産農畜産物を利用 14万円
- 市立小中学校の耐震工事を実施 2億684万円
- 高齢者が居住する古い木造住宅の調査を実施 72万円
- 小野路宿通りの古い町並みを保全・再生するための計画をまとめ、板塀の設置に対して補助 486万円



相原中央公園(写真)は自然豊かな公園です。散策路では落葉を踏みしめながら、里山の雰囲気が楽しめます。

### 子育て・保健福祉のまちを目指して

### 市民すべてが希望の持てるまち

- 民間保育園の新設に対する補助 6,421万円
- 認可外保育施設に子どもを預ける家庭を支援 4,561万円
- (仮称)相原子どもセンターの新設工事に着手 1億7,442万円
- 義務教育の9年間を通じて規範教育やキャリア教育などを行う小中一貫教育をモデル校で実施 1,839万円
- ボランティアによる学習指導補助、本の読み聞かせ、部活動指導などをモデル校で実施 876万円
- 健康や生活習慣病予防のための食生活に関する講演会や講座を実施 133万円
- 一人で公共交通を利用することが難しい方の外出を支援 3,757万円

「やまゆり号」(写真)や「あいちゃん号」で障がい者や高齢者など一人で公共交通を利用することが難しい方の外出支援(福祉有償運送サービス)を行っています。



### 商業・文化芸術都市を目指して

- 町田の魅力を高め、地域を活性化していくためのコンセプトを「地域活性化懇談会」で検討 1,110万円
- 市内の道路交通を円滑にするための主要な道路の整備に着手 8億3,158万円
- 渋滞が激しい道路交差点2か所の改良に着手 458万円
- (仮称)観光コンベンション協会、フィルムコミッション組織の設立に向けた検討、準備を実施 98万円
- 「町田市文化交流センター」を整備 21億8,413万円
- 国際版画美術館、博物館、市民文学館で各種企画展を開催 6,651万円



町田市民文学館では昨年開館1周年記念として、「特別企画展 遠藤周作とPaul Endo - 母なるものへの旅」展(写真)を開催しました。現在開催中の「文学の鬼を志望す - 八木義徳」展は終了間近(12月14日まで)です。

### 行政経営改革のために

行政経営上の重要課題について、外部の有識者からなる「町田市経営改革会議」を設置 785万円

市民的視点によるチェック機能の強化のため、土地の取得、処分及び管理等について包括外部監査を実施 1,745万円